

ECONOMIC ASPECTS

さらなる成長をめざして

企業が成長していくためには、健全な企業体質をもとに、安定的な収益を生み出していく必要があります。JFEグループは、コスト競争力の向上、品質優位性の確立、新商品・新技術の開発、従業員の生産性向上や技能継承など、ものづくりを中核とする企業グループとしての原点を重視した企業体質の構築を図り、さらなる成長をめざしています。

JFEグループの営業概況

2007年度の業績見通しは、2007年4月26日の決算発表時の公表数値です。

JFEグループは、企業理念である「常に世界最高の技術をもって社会に貢献する」ことを通じて、企業価値および株主共同の利益の向上に向けて誠実に努めてきました。

発足当初から、グローバル企業としてのスタート地点に立つための基盤確立に取り組み、収益力の強化および財務体質の大幅な改善を達成することができました。

なお当社は、2006年11月に自己の株式の取得を決議し、実施してきましたが、2007年2月までに取得した1,200億円をもってこれを終了しています。

2007年度の連結業績は、売上高3兆5,000億円、営業利益5,250億円、経常利益5,200億円、当期純利益3,100億円と、それぞれ増加する見通しです。また、次期の中間配当金は、1株につき60円を予定しています。

2006・2007年度の業績概況

2006年度は、世界的視野での成長・飛躍のための基礎固めの時期と位置づけた第2次中期経営計画の初年度として、高収益体質の確立に努めた結果、収益は計画を上回るペースで順調に推移しました。2006年度の連結業績は、売上高は3兆2,604億円、営業利益は5,039億円、経常利益は5,135億円、当期純利益は2,996億円となり、第2次中期計画の目標レベルを達成しました。

当社は株主への利益還元を最重要経営課題の一つと考え、グループ全体として持続性のある企業体質の確立を図りつつ、積極的に配当を実施していきます。第2次中期計画期間（2006～08年度）には配当性向（連結ベース）25%程度を基本として検討していきます。当期の配当はこの基本方針のもと、第2次中期計画の進捗状況を踏まえ、期末配当金を1株当たり70円とし、年間では、中間配当金と合わせ前期比20円増配の1株当たり120円としました。

売上高
3兆2,604
億円

経常利益
5,135
億円

当期純利益
2,996
億円

	2005年度	2006年度
売上高	30,983	32,604
営業利益	5,171	5,039
経常利益	5,173	5,135
ROS	16.7%	15.8%
当期純利益	3,259	2,996
1株当たり年間配当金	100円	120円

	2007年度
売上高	35,000
営業利益	5,250
経常利益	5,200
ROS	14.9%
当期純利益	3,100